

概要版

# 富山県景観づくり 色彩ガイドライン



# 1

## 富山の色彩景観——伝えたい美しいとやまの色

私たちのふるさと富山には、立山連峰、黒部峡谷に代表される山岳景観の緑や急傾斜の大地を下りおりる清冽な水の青、四季折々に彩りを添える花々の鮮やかな色など、豊かな自然に恵まれた富山ならではの色彩がみられます。

また、世界的に価値が認められている五箇山の合掌造り集落のほか街道筋、門前町の歴史的町並みなど、先人たちが築き上げてきた素朴で力強い色彩もふるさと富山を特徴づける大切な色彩です。こうした景観をいっそう充実させながら保全、創造していくことが私たちの重要な役割といえます。



# 2

## マンセル表色系——色を正確に伝えるための国際的尺度

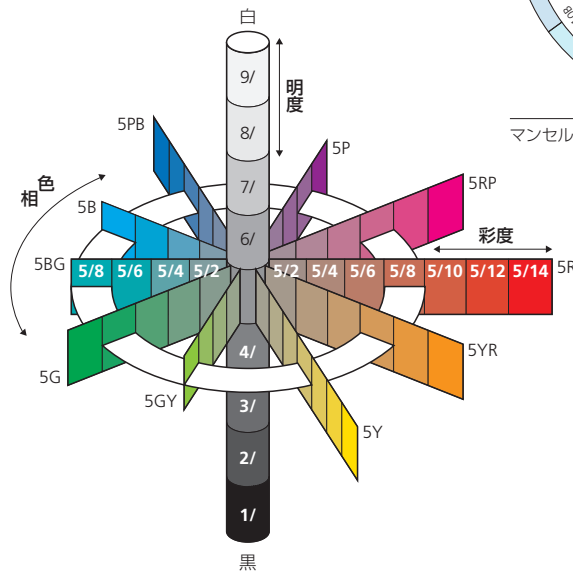
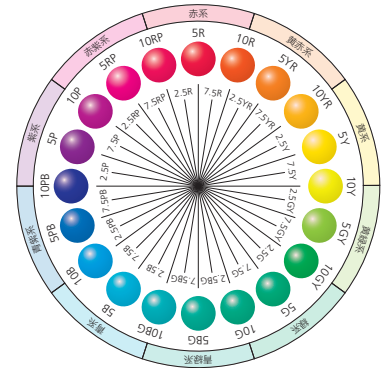
色彩ガイドラインでは、色彩を正確かつ客観的に表すために、日本工業規格などにも採用されている国際的な尺度である[マンセル表色系]を採用しています。[マンセル表色系]ではひとつの色彩を[色相(いろあい)]、[明度(あかるさ)]、[彩度(あざやかさ)]という3つの属性の組み合わせによって表現します。

●**色相は**、いろあいを表します。10種の基本色(赤、黄赤、黄、黄緑、緑、青緑、青、青紫、紫、赤紫)の頭文字をとったアルファベット(R, YR, Y, GY, G, BG, B, PB, P, RP)とその度合いを示す0から10までの数字を組み合わせ、10Rや5Yなどのように表記します。

●**明度は**、あかるさを0から10までの数値で表します。暗い色ほど数値が小さく、明るい色ほど数値が大きくなり10に近くなります。

●**彩度は**、あざやかさを0から16程度までの数値で表します。色味のない鈍い色ほど数値が小さく、白、黒、グレーなどの無彩色の彩度は0になります。逆に鮮やかな色彩ほど数値が大きくなり赤の原色の彩度は16程度です。

●**マンセル値は**、これら3つの属性を組み合わせで表記する記号です。例えば、赤いチューリップの色彩は5R4/14と表記し、「5アール、4の14」と読みます。



マンセル表色系のしくみ



赤いチューリップの花の色

ごアール よん のじゅうよん

**5R 4 / 14**

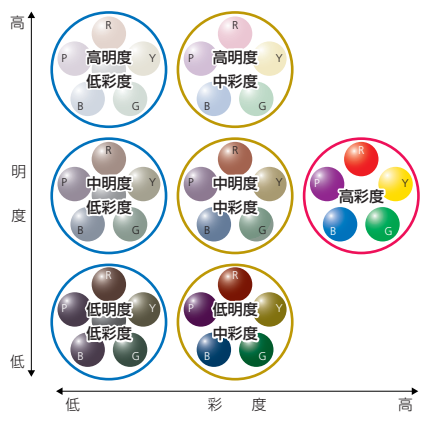
色相 明度 彩度



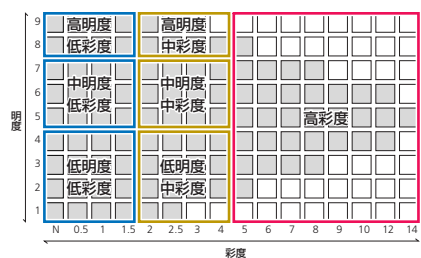
色彩ガイドラインは、客観性のあるマンセル表色系を基礎としていますが、同時に感覚的にも理解しやすいものである必要があると考え、明るさ、鮮やかさに共通性があり、印象がよく似た色彩をトーン(色調)としてグループ化し、すべての色彩を7つのトーンに分類しています。

各トーンは、それぞれ下の表のような範囲で区切られています。

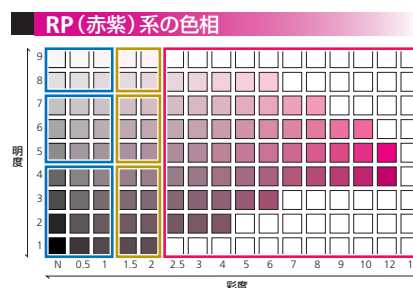
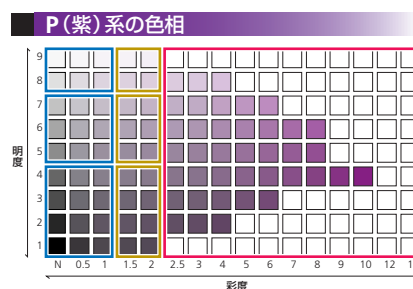
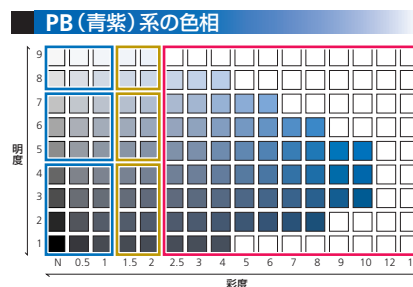
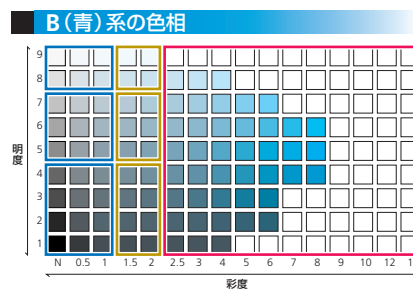
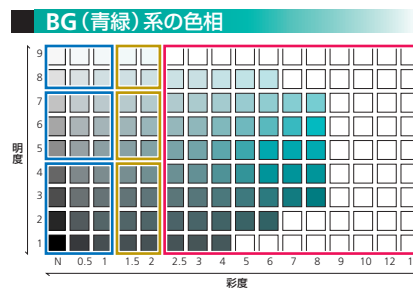
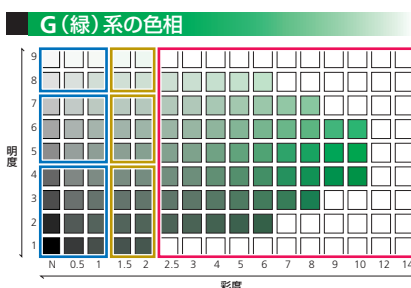
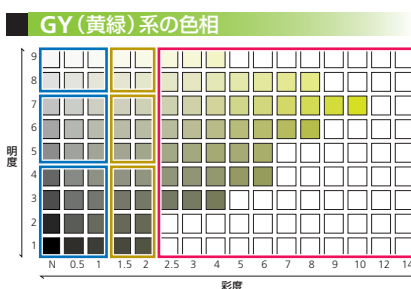
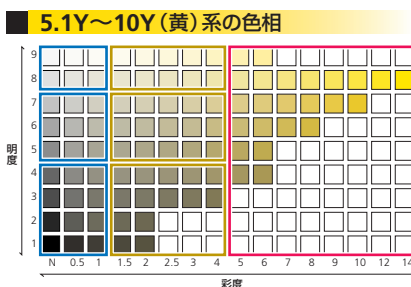
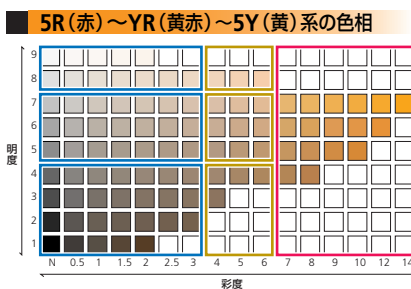
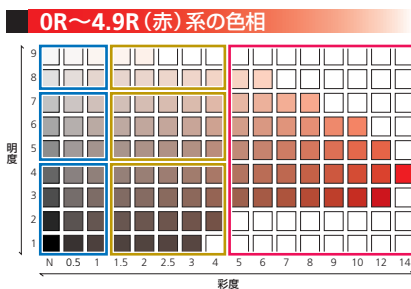
検討中の色彩のマンセル値が分れば、その色彩が、景観類型別色彩指針で示す「避けた方がよい色」や「おすすめの色」に含まれているかどうかを判断することができます。



色彩ガイドラインによる7つのトーン分類



カラーチャートの凡例



トーン		色相	0R~4.9R (赤)	5.0R~10R (赤)	YR (黄赤)	0Y~5.0Y (黄)	5.1Y~10Y (黄)	GY(黄緑)	G(緑)	BG(青緑)	B(青)	PB(青紫)	P(紫)	RP(赤紫)
低彩度	高明度	明度	0~2.0			0~3.0		0~2.0		8.0~10				
	低彩度	彩度	0~2.0			0~3.0		0~2.0		0~1.0				
	中明度	明度	0~2.0			0~3.0		0~2.0		5.0~7.9				
	低彩度	彩度	0~2.0			0~3.0		0~2.0		0~1.0				
中彩度	低明度	明度	0~2.0			0~3.0		0~2.0		0~4.9				
	低彩度	彩度	0~2.0			0~3.0		0~2.0		0~1.0				
	高明度	明度	2.1~4.0		3.1~6.0		2.1~4.0		8.0~10		1.1~2.0			
	中彩度	彩度	2.1~4.0		3.1~6.0		2.1~4.0		5.0~7.9		1.1~2.0			
高彩度	低明度	明度	2.1~4.0		3.1~6.0		2.1~4.0		0~4.9		1.1~2.0			
	中彩度	彩度	2.1~4.0		3.1~6.0		2.1~4.0		0~10		2.1~			

●7つの景観類型

建築物等を取り巻く景観はひとつひとつ異なりますが、このガイドラインでは、富山県全体の景観を7つのパターンに類型化し、「避けた方がよい色」や「おすすめの色」を提案しています。

各類型には、厳密な地域区分はありません。建築物等の色彩を検討する前に、現地の景観を確認し、対象がどの類型に属するかを判断してください。

●色彩の選定にあたって

ここでは、各景観類型ごとに「避けた方がよい色」と「おすすめの色」を示しています。

このような具体的色彩を提案するにあたって、各景観類型を代表する地域の現況調査を実施し、できるだけ客観的に色彩を選定するよう努めました。

●避けた方がよい色

現況の景観の中であまり使用されていない奇異な色やその色彩が混入することによって地域の色彩景観が大きな影響を受ける色を色彩の範囲(トーン)で示しています。

各景観類型にふさわしい色彩景観をつくるため、避けた方がよい色を建築物等の基調色に用いないようにしましょう。

●おすすめの色

現況の景観の中に多くみられ、周辺の自然物や人工物との対比が少ない色彩を、色相やトーンの範囲と同時に、具体的なマンセル値や日本塗料工業会標準色見本帳の色彩記号で表しています。対象施設の色彩について、明確な選定意図がない場合は、おすすめの色を参考にしてください。

●色彩指針の例外

次のような建築物等は、必要に応じて「避けた方がよい色」の中からも基調色を選択することができます。

①独自の景観づくりが進められている地域

地区計画や建築協定、その他任意の協定などによって独自の景観・まちづくりが進められている地域で、色彩についても協定等に独自の内容が定められている場合

②地域のランドマークで近隣の合意が得られる建築物等

地域の景観づくりのうえで重要な位置づけにあり、周辺の自然や町並みとは異なる色彩を使用することが必要な建築物や土木構造物  
ただし、周辺の景観に十分に配慮し、周辺の住民や関係する行政機関などの合意を得ることが必要です。

③自然素材などの素材色を基調とした建築物等

施工直後には使用することを避けた方がよい色彩の範囲に含まれていても、経年変化によって穏やかなトーンに変色する木材や土壁などの自然素材、着色を施していない金属板やスレート、ガラスなどの素材色

山岳里山景観

立山連峰からより身近な里山まで、周囲を傾斜地の緑に囲まれた山間部の景観です。豊かな自然の緑を生かし、緑の中にとけ込むような景観づくりが求められる地域です。

🔍 現況の色彩

明るく落ち着いたオフホワイトやベージュの外壁に、赤茶色やこげ茶色の屋根や柱型などを組み合わせた、暖色系色相の濃淡による配色が基本となっています。

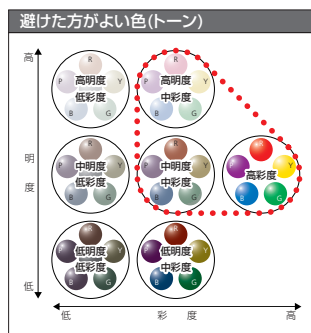
一方、屋根等に派手なオレンジやグリーンなどを採用した建築物等が比較的多くみられ、植物の生きた緑よりも目立つ要素となっています。



🔍 避けた方がよい色

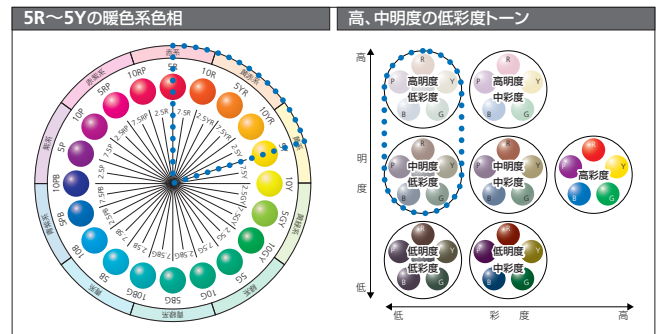
山岳里山景観地域では、地域の景観の基盤となっている、自然の緑の色彩を生かすため、以下に挙げる、派手な色や色味の強い色を外壁等の基調色とすることを避けてください。

- 高彩度色
- 高明度・中彩度色
- 中明度・中彩度色



🔍 おすすめの色

山岳里山景観地域では、以下の色彩をおすすめします。



おすすめの色(日本塗料工業会標準色見本帳より)

●高明度・低彩度色				
5.0YR8.5/1.0 [15-85B]	5.0YR8.0/1.0 [15-80B]	7.5YR8.0/2.0 [17-80D]	10YR9.0/0.5 [19-90A]	10YR8.5/0.5 [19-85A]
10YR8.5/1.5 [19-85C]	10YR8.0/0.5 [19-80A]	10YR8.0/1.0 [19-80B]	10YR8.0/1.5 [19-80C]	2.5Y9.0/1.0 [22-90B]
2.5Y8.5/1.5 [22-85D]	2.5Y8.5/2.0 [22-85D]	2.5Y8.0/1.0 [22-80B]	2.5Y8.0/1.5 [22-80C]	2.5Y8.0/2.0 [22-80D]
5.0Y8.0/1.0 [25-80B]				
●中明度・低彩度色				
5.0YR7.5/1.0 [15-75B]	5.0YR7.0/1.0 [15-70B]	5.0YR7.0/2.0 [15-70D]	5.0YR6.0/2.0 [15-60B]	7.5YR7.0/2.0 [17-70D]
7.5YR6.0/2.0 [17-60D]	10YR7.5/1.0 [19-75B]	10YR7.5/1.5 [19-75C]	10YR7.5/2.0 [19-75D]	10YR7.0/1.0 [19-70B]
10YR7.0/1.5 [19-70C]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	2.5Y7.5/2.0 [22-75D]	2.5Y7.0/2.0 [22-70D]	2.5Y6.0/2.0 [22-60D]
5.0Y6.0/1.0 [19-60B]	10YR6.0/3.0 [19-60F]			5.0Y6.0/1.0 [25-60B]



# 海岸景観

富山湾を取り囲む自然豊かな海岸周辺の景観です。浜黒崎海岸のような砂浜や阿尾の浦のような岩浜など浜辺の様子は多様ですが、いずれも開放的な海との調和が求められる地域です。

## 現況の色彩

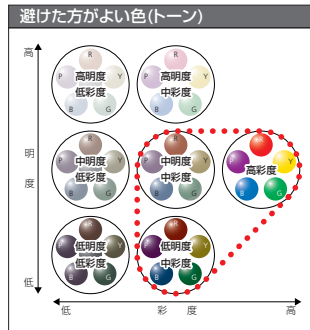
明るく穏やかな色調の外壁を採用したものが多く、海辺らしい開放感を感じさせます。また、屋根には黒や焦茶の釉薬瓦を用いたものが多く、明るい壁と暗い屋根の対比は力強さを感じさせる色彩要素となっています。宿泊施設等では、周囲と対比的な彩度の高い色彩を基調とした建築物等もみられます。



## 避けた方がよい色

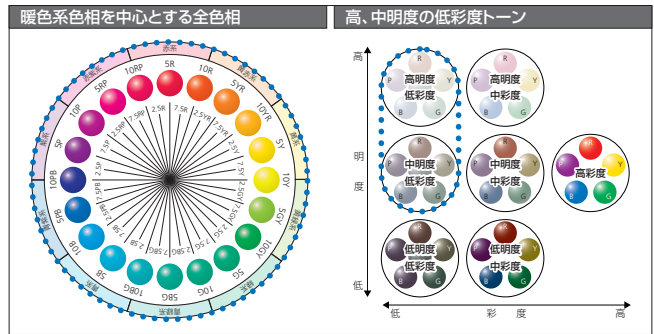
海岸景観地域では、明るく開放的な海辺の自然景観を生かすため、以下に挙げる派手な色や色味の強い暗い色を外壁等の基調色とすることを避けてください。

- 高彩度色
- 中明度・中彩度色
- 低明度・中彩度色



## おすすめの色

海岸景観地域では、以下の色彩をおすすめします。



## おすすめの色(日本塗料工業会標準色見本帳より)

### ● 高明度・低彩度色

5.0YR9.0/0.5 [15-90A]	10YR8.5/0.5 [19-85A]	10YR8.0/1.5 [19-80C]	5.0Y9.0/0.5 [25-90A]	5.0G8.0/0.5 [45-80A]	N9.5 [N-95]
10YR9.0/0.5 [19-90A]	10YR8.5/1.0 [19-85B]	2.5Y9.0/1.0 [22-90B]	5.0Y9.0/1.0 [25-90B]	5.0B8.0/0.5 [55-80A]	N9.0 [N-90]
10YR9.0/1.0 [19-90B]	10YR8.5/1.5 [19-85C]	2.5Y8.5/1.0 [22-85B]	5.0Y8.5/1.0 [25-85B]	5.0B8.0/0.5 [55-80A]	N8.5 [N-85]
10YR9.0/1.5 [19-90C]	10YR8.0/1.0 [19-80B]	2.5Y8.0/1.0 [22-80B]	5.0Y8.0/1.0 [25-80B]	5.0PB8.0/0.5 [75-80A]	N8.0 [N-80]

### ● 中明度・低彩度色

5.0R7.0/0.5 [05-70A]	10YR7.0/1.0 [19-70B]	2.5Y7.5/2.0 [22-75D]	5.0Y7.5/1.5 [22-75C]	5.0B7.0/1.0 [65-70B]	N7.5 [N-75]
10YR7.5/1.0 [19-75B]	2.5Y7.5/1.0 [22-75B]	5.0Y7.5/1.0 [25-75B]	5.0Y7.0/0.5 [22-70A]	5.0PB7.0/1.0 [75-70B]	N7.0 [N-70]



# 田園景観

砺波平野や黒部川扇状地などの水田や畑などが広がる田園地域の景観です。集落などの周囲を取り囲む作物の緑やどこまでも続く開放的な空などとの調和が求められる地域です。

## 現況の色彩

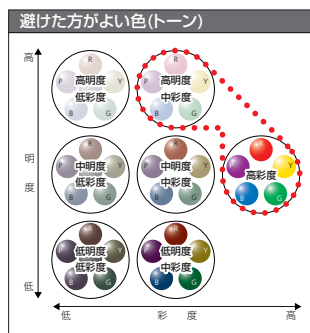
住宅等の色彩は木材や漆喰、和瓦など、素材色を生かしたものが主体となっています。大規模な建築物のなかには、田畑の緑よりも目立つ派手な色彩を採用したのも見られ、開放的な田園景観の中で遠距離からも目を惹く要素となっています。



## 避けた方がよい色

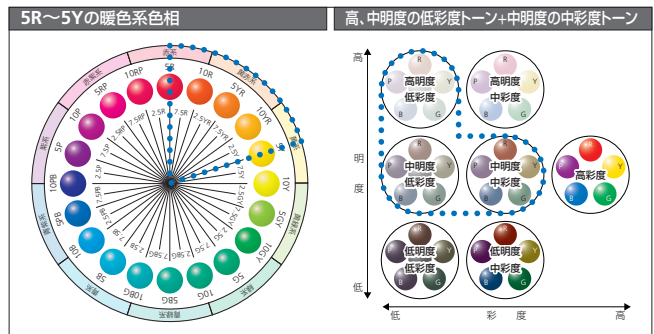
田園景観地域では、古くから継承されてきた営農の景観を生かすために、以下に挙げる、派手な色彩や明るく色味の強い色彩を外壁等の基調色として使用することを避けてください。

- 高彩度色
- 高明度・中彩度色



## おすすめの色

田園景観地域では、以下の色彩をおすすめします。



## おすすめの色(日本塗料工業会標準色見本帳より)

### ● 高明度・低彩度色

7.5YR8.0/2.0 [17-80D]	10YR8.5/1.5 [19-85C]	10YR8.0/3.0 [19-80F]	2.5Y8.5/1.0 [22-85B]	2.5Y8.0/2.0 [22-80D]	5.0Y8.5/1.0 [25-85B]
10YR9.0/0.5 [19-90A]	10YR8.0/1.0 [19-80B]	2.5Y9.0/1.0 [22-90B]	2.5Y8.0/1.0 [22-80B]	5.0Y9.0/0.5 [25-95A]	5.0Y8.5/1.5 [25-85C]

### ● 中明度・低彩度色

5.0YR7.0/1.0 [15-70B]	7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR7.5/2.0 [19-75D]	10YR7.0/3.0 [19-70F]	2.5Y7.5/2.0 [22-75D]	2.5Y6.0/2.0 [22-60D]
5.0YR7.0/2.0 [15-70D]	7.5YR6.0/2.0 [17-60D]	10YR7.0/1.0 [19-70B]	10YR6.0/3.0 [19-60F]	2.5Y7.0/2.0 [22-70D]	5.0Y7.5/1.5 [22-75C]
5.0YR6.0/2.0 [15-60D]	10YR7.5/1.0 [19-75B]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	2.5Y7.5/1.0 [22-75B]	2.5Y6.0/1.5 [22-60C]	5.0Y7.0/1.5 [22-70C]

### ● 中明度・中彩度色

7.5YR7.0/4.0 [17-70H]	7.5YR6.0/4.0 [17-60H]	10YR6.0/4.0 [19-60H]	2.5Y7.0/4.0 [22-70H]	2.5Y5.0/3.0 [22-50F]	2.5Y5.0/4.0 [22-50H]
-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------





# 商業・業務景観

市街地中心部や幹線道路沿道など多様な商業系施設や業務系施設が集積した都市的な景観です。多くの人が集まり交流する町の顔ともいえる地域です。地域の特性上、適度にぎわいも求められます。

## 現況の色彩

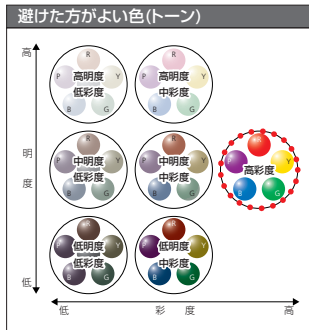
中心市街地に立地する業務施設は、一般的に低・中彩度の穏やかな色彩を基調としたものが多く、品格のある町並みが形成されています。商業施設については、建築物等自体は穏やかな色彩を採用しているものの、派手な広告物等が多数設置され、町並みの品格を阻害しているような建築物等がみられます。



## 避けた方がよい色

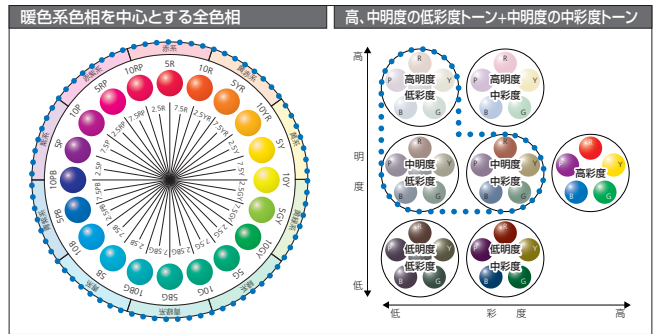
商業・業務景観地域では、品格の中にも適度な変化を持つ都市景観を形成するため、けばけばしい印象の派手な色彩を外壁等の基調色とすることを避けてください。

### ●高彩度色



## おすすめの色

商業・業務景観地域では、以下の色彩をおすすめします。



### おすすめの色(日本塗料工業会標準色見本帳より)

#### ●高明度・低彩度色

10R8.0/2.0 [09-80D]	7.5YR8.0/2.0 [17-80D]	10YR8.5/3.0 [19-85F]	2.5Y8.5/3.0 [22-80F]	5.0B68.0/0.5 [55-80A]	N9.5 [N-95]
5.0YR8.5/1.0 [15-85B]	7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR8.0/3.0 [19-80C]	2.5Y8.0/1.5 [22-80C]	5.0PB8.0/0.5 [75-80A]	N9.0 [N-90]
5.0YR8.0/3.0 [15-80F]	10YR8.5/1.5 [19-85C]	2.5Y8.5/2.0 [22-85D]	2.5Y8.0/2.0 [22-80D]	5.0PB8.0/1.0 [75-80B]	N8.5 [N-85]

#### ●中明度・低彩度色

5.0YR7.0/2.0 [15-70D]	7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR7.0/3.0 [19-70F]	2.5Y7.5/2.0 [22-75D]	5.0B67.0/1.0 [55-70B]	N7.5 [N-75]
5.0YR6.0/3.0 [15-60F]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	10YR6.0/3.0 [19-60F]	2.5Y6.0/2.0 [22-60D]	5.0PB7.0/1.0 [75-70B]	N7.0 [N-70]

#### ●中明度・中彩度色

5.0YR7.0/4.0 [15-70H]	7.5YR7.0/4.0 [17-70H]	7.5YR6.0/4.0 [17-60H]	10YR7.5/6.0 [19-75L]	10YR6.0/4.0 [19-60H]	2.5Y7.0/4.0 [22-70H]
-----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------



# 住宅地景観

戸建て住宅を主体に住居系施設が集積した住宅地の景観です。隣接する建築物等との連続性を考慮し、落ち着きと安らぎのある景観づくりが求められる地域です。

## 現況の色彩

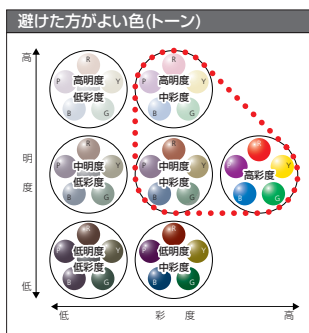
ベージュやアイボリーなど明るく穏やかな色調の外壁と、黒や灰色、焦茶など、暗く落ち着いた屋根の配色が基本となっており、住宅地にふさわしい暖かさと安らぎを感じさせる要素となっています。一方、一部に穏やかな色彩の連続性を遮断するような、派手な黄色や緑などを基調とした住宅等もみられます。



## 避けた方がよい色

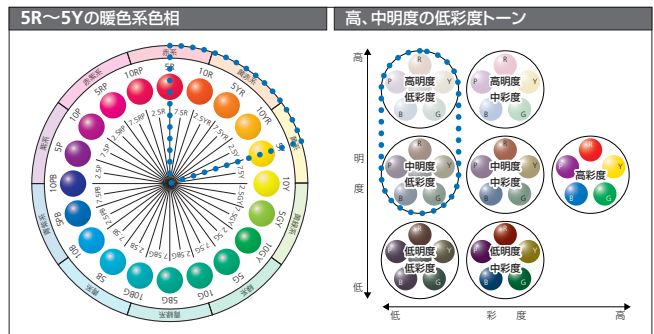
住宅地景観地域では、落ち着きと安らぎのある町並みを形成するため、以下に挙げる派手な色や色味の強い色を外壁等の基調色とすることは避けてください。

- 高彩度色
- 高明度・中彩度色
- 中明度・中彩度色



## おすすめの色

住宅地景観地域では、以下の色彩をおすすめします。



### おすすめの色(日本塗料工業会標準色見本帳より)

#### ●高明度・低彩度色

10R8.0/2.0 [09-80D]	7.5YR8.0/2.0 [17-80D]	10YR8.5/1.5 [19-85C]	10YR8.0/3.0 [19-80F]	2.5Y8.0/1.0 [22-80B]	5.0Y9.0/0.5 [25-95A]
5.0YR8.5/1.0 [15-85B]	10YR9.0/0.5 [19-90A]	10YR8.0/1.0 [19-80B]	2.5Y8.5/1.0 [22-85B]	2.5Y8.0/1.5 [22-80C]	N9.0 [N-90]
5.0YR8.0/1.0 [15-80B]	10YR9.0/1.5 [19-90C]	10YR8.0/1.5 [19-80C]	2.5Y8.5/2.0 [22-85D]	2.5Y8.0/2.0 [22-80D]	N8.5 [N-85]

#### ●中明度・低彩度色

10R7.0/2.0 [09-70D]	5.0YR6.0/2.0 [15-60D]	10YR7.0/1.0 [19-70B]	10YR6.0/3.0 [19-60F]	2.5Y7.0/2.0 [22-70D]	5.0Y7.0/1.5 [22-70C]
2.5YR7.0/2.0 [12-70D]	7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	2.5Y7.5/1.0 [22-75B]	2.5Y6.0/2.0 [22-60D]	N7.5 [N-75]
5.0YR7.0/2.0 [15-70D]	10YR7.5/1.0 [19-75B]	10YR7.0/3.0 [19-70F]	2.5Y7.5/2.0 [22-75D]	5.0Y7.5/1.0 [25-75B]	N7.0 [N-70]



# 産業施設景観

工場や倉庫などが集積し、製造や物流の拠点となっている地域の景観です。大きなスケールの人工物が多数立地することから、明るく親しみやすい景観が求められる地域です。

## 現況の色彩

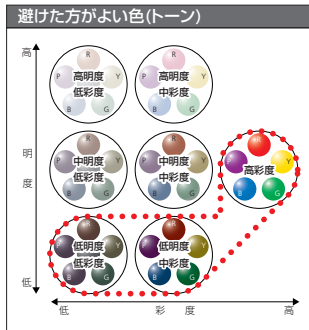
産業施設の建築物等は、どちらかという経済性を重視した単調な外観のものが多くなっていますが、全体としては、明るく穏やかな色調が基本となっており、清潔感のある外観が形成されています。一部の施設では、建築物等のメンテナンスに問題があり、汚損した施設が外部から目立っている例もみられます。



## 避けた方がよい色

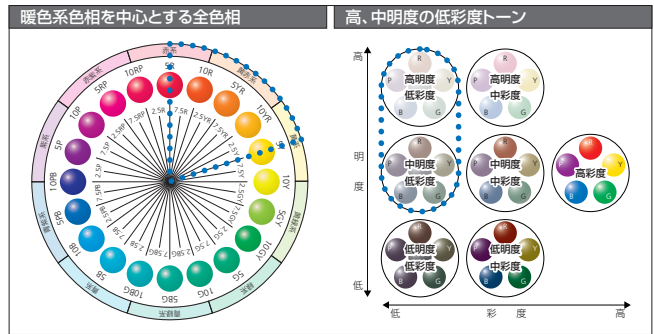
産業施設景観地域では、威圧感や閉鎖感を軽減し、明るく親しみやすい景観とするために、以下に挙げる、鮮やかな色彩や暗い色彩を外壁等の基調色とすることを避けてください。

- 高彩度色
- 低明度・中彩度色
- 低明度・低彩度色



## おすすめの色

産業施設景観地域では、以下の色彩をおすすめします。



## おすすめの色(日本塗料工業会標準色見本帳より)

### ●高明度・低彩度色

10YR9.0/0.5 [19-90A]	2.5Y9.0/1.0 [22-90B]	5.0Y9.0/0.5 [25-95A]	5.0Y8.0/1.0 [25-80B]	5.0B8.0/0.5 [65-80A]	N9.0 [N-90]
10YR8.5/1.5 [19-85C]	2.5Y8.5/1.0 [22-85B]	5.0Y9.0/1.0 [25-90B]	5.0G9.0/0.5 [45-90A]	5.0PB9.0/0.5 [75-90A]	N8.5 [N-85]
10YR8.0/1.0 [19-80B]	2.5Y8.0/1.0 [22-80B]	5.0Y8.5/1.0 [25-85B]	5.0B9.0/0.5 [65-90A]	5.0PB8.0/0.5 [75-80A]	N8.0 [N-80]

### ●中明度・低彩度色

7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR7.0/1.0 [19-70B]	2.5Y7.5/1.5 [22-75C]	5.0Y7.5/1.5 [22-75C]	5.0G7.0/1.0 [45-70B]	5.0PB7.0/1.0 [75-70B]
10YR7.5/1.0 [19-75B]	10YR7.0/1.5 [19-70C]	2.5Y7.0/1.0 [22-70B]	5.0Y7.0/0.5 [22-70A]	5.0BG7.0/1.0 [55-70B]	N7.5 [N-75]
10YR7.5/1.5 [19-75C]	2.5Y7.5/1.0 [22-75B]	5.0Y7.5/1.0 [25-75B]	5.0Y7.0/1.5 [22-70C]	5.0B7.0/1.0 [65-70B]	N7.0 [N-70]



# 歴史的町並み景観

宿場町や門前町など、伝統的様式の建築物などが多数残っている歴史的町並みの景観です。木材や和瓦など、伝統的な建築材料の穏やかな色彩を生かした景観づくりが求められる地域です。

## 現況の色彩

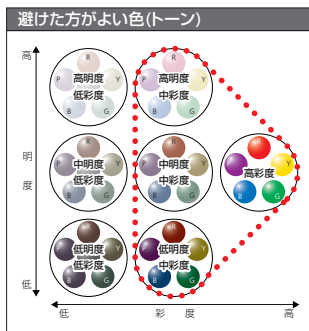
歴史的町並みの建築物等の色彩は、漆喰の白や木材の灰褐色、瓦屋根の黒を基本とした、明暗の対比がはっきりとしたモノトーンの配色が凜とした佇まいを見せています。また、住民等の協力により、新しい施設でも周囲にあわせて和風の外観を採用するなど、歴史的資産を継承する取り組みが進んでいます。



## 避けた方がよい色

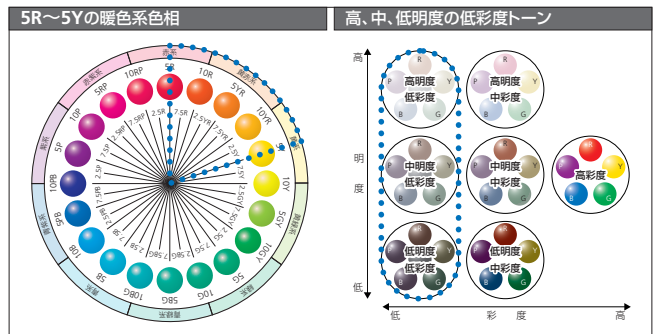
歴史的町並み景観地域では、風格のある町並みを継承していくために、以下に挙げる色味の強い色を外壁等の基調色とすることは避けてください。

- 高彩度色
- 高明度・中彩度色
- 中明度・中彩度色
- 低明度・中彩度色



## おすすめの色

歴史的町並み景観地域では、以下の色彩をおすすめします。



## おすすめの色(日本塗料工業会標準色見本帳より)

### ●高明度・低彩度色

10YR9.0/0.5 [19-90A]	10YR8.0/1.0 [19-80B]	2.5Y8.5/1.0 [22-85B]	5.0Y9.0/0.5 [25-95A]	5.0Y8.5/1.0 [25-85B]	N9.5 [N-95]
10YR8.5/0.5 [19-85A]	2.5Y9.0/1.0 [22-90B]	2.5Y8.0/1.0 [22-80B]	5.0Y9.0/1.0 [25-90B]	5.0Y8.0/1.0 [25-80B]	N9.0 [N-90]

### ●中明度・低彩度色

5.0YR6.0/2.0 [15-60D]	7.5YR5.0/3.0 [17-50F]	10YR7.0/2.0 [19-70D]	10YR6.0/3.0 [19-60F]	2.5Y7.0/2.0 [22-70D]	2.5Y5.0/2.0 [25-50D]
5.0YR6.0/3.0 [15-60F]	10YR7.5/1.0 [19-75B]	10YR7.0/3.0 [19-70F]	2.5Y7.5/1.0 [22-75B]	2.5Y6.0/1.5 [22-60C]	2.5Y5.0/3.0 [25-50F]
7.5YR7.0/2.0 [17-70D]	10YR7.0/1.0 [19-70B]	10YR6.0/1.0 [19-60B]	2.5Y7.5/2.0 [22-75D]	2.5Y6.0/2.0 [22-60D]	5.0Y7.0/1.5 [22-70C]

### ●低明度・低彩度色

5YR4.0/2.0 [15-40D]	5YR3.0/1.0 [15-30B]	5YR3.0/3.0 [15-30F]	10YR4.0/2.0 [19-40D]	2.5Y4.0/2.0 [22-40D]	2.5Y3.0/2.0 [22-30D]
---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------



## ●個々の色彩を考える前に

今ある景観を整え、より美しい景観へと充実させていくためには、個々の色彩の善し悪しを考える前に、より広い視点で計画対象を取り巻く環境を把握することが大切です。

## ●10項目の配慮事項

ここでは、建築物や土木構造物などの色彩を考える際に、景観づくりの視点から気をつけたい配慮事項として、10のポイントを整理しています。

計画対象によって項目ごとの重み付けは異なりますが、各項目の趣旨を理解し、その考え方を具体的な色彩計画に反映していくことにより、バランスのとれた美しい景観を整えていくことができます。

## ●あなたの色彩を評価してみましょう

10のポイントをチェックリストにしました。あなたが計画している建築物等は、景観色彩を整えるポイントをどのくらい満たしていますか？



チェック欄	配慮事項	考え方
	景観色彩の秩序	秩序ある景観をつくるために、景観の中で公共性の高い交通標識や季節感のある花などを目立たせ、建築物や土木工作物など、永い時間同じ場所にあるようなものの色彩は控えめにする。
	地域性・地区性	建築物等が立地する場所の特性を考慮し、商業地ではにぎわいを持たせ、住宅地や田園、山間などでは落ち着きが得られるようにするなど、それぞれの雰囲気にならぶ色彩の使い方を考える。
	町並みの連続性	計画対象の周囲にある現況の色彩を把握し、それらと連続性や共通性を持たせ、町並みとして共通の雰囲気が醸成されるように工夫する。
	建築物等の慣例色と騒色	建築物等によく用いられる暖色系の中・低彩度色を尊重し、周囲の人が不快に感じるような奇異な色彩や配色を避けるようにする。
	建築物等の色彩調和	周囲の建築物等と色相やトーンをそろえ、調和感のある町並みをつくる。 また、建築物の各部位の色彩を同色相でそろえるなど、バランスのとれた外観となるよう工夫する。
	建築物等の規模や形態との調和	色彩の面積効果を理解し、大面積で用いられる建築物等の色彩は慎重に検討する。色の塗り分けは建築物等の形態を考慮し、凹凸等形態の特徴を生かすように行う。
	景観と色彩の心理的効果	明暗、寒暖など色彩の心理的効果を理解し、建築物等のイメージづくりに生かす。一方、色彩の心理的効果を偏重し、自然景観の中の派手な緑など、安易に派手な色彩を用いないように注意する。
	色彩の経年変化とメンテナンス	色彩の経年変化を考慮し、大きな面積には褪色や汚れに強い低彩度色を用いる。また、美観を保つために定期的なメンテナンスを心がける。
	安全性とバリアフリー	景観の中で重要な情報を担っている、交通標識や公共サインなどの色彩を妨げないようにして、多くの人が安全に過ごせる景観を整える。
	屋外広告物と景観の調和	屋外広告物も色彩景観の一端を担っていることを理解し、単に目立つだけの広告物から、周囲の町並みと調和し、建築物等のイメージをより良くするような広告物へと発展させる。